号外！次は4月！この2人と、あの若手。

第31回　佐世保かっちぇて落語会

瀧川鯉昇・柳家三三

それぞれ二席ずつ、たっぷりと。

鯉昇さんは、５回。三三（さんざ）さん、３回。この数字は、お二人が夜中にトイレに行く回数・・・ではありません。
私たちの落語会に出演していただいた回数ですが、ある時に気がつきました。いままで、ご一緒の回がなかったことに。こりゃいかん。人気も実力も、トップクラスの両師匠なのに。こりゃもったいない。この会のお客様方と落語っ子に、好印象を持ってくれている両師匠なのに。こりゃおもしろいぞ。芸風も雰囲気も世代も所属の協会も、まったくちがう両師匠だから。

瀧 川 鯉 昇：1953年生まれの69歳。いかにも落語家らしい風貌や古典落語の中にはさむナンセンスギャグなど、その飄々とした軽いおかしみのある高座は現在もっとも落語本来の楽しさ、面白さを伝えてくれる貴重で希少な存在である。登場してからしばし無言の間（ま）があり、その表情だけでも笑えると、佐世保でもファンになった人は多い。一度聴いたら気になって、二度聴いたら癖になり、三度聴いたら抜けられない脱力爆笑系の不思議な芸風でありながらも、文化庁芸術祭優秀賞受賞など、その表現力の確かさは映画界でも高く評価されていて、映画『ツユクサ』では小林聡美や松重豊と共演。その人柄はとても温厚で優しいから、ただいま弟子が 13 人と、これまた落語界でのトップクラスで、いわゆる“鯉昇殿の 13 人”。鯉昇さんって、そういう指導力もある人なのです。

柳 家 三 三：1974年生まれの48歳。人間国宝であった小三治の愛弟子として“柳家の主流”から外れることなく、古典落語の王道をまっすぐに進むその姿、その確かな表現力、その情感こもる口跡（せいふ回し）は、落語通の間でも非常に高く評価されていて、花形演芸大賞や芸術選奨新人賞等を受賞し、落語界の次代を担う本格派である、と賞賛されている。その活躍は高座だけにとどまらず、映画『しゃべれども、しゃべれども』では主演の国分太一に落語の稽古をつけ、テレビ『情熱大陸』にも出演し、漫画の監修や声優なども多才に。

これほどの噺家でありながらも、私たちの会に出演後には直筆の葉書をくれて、そこには佐世保の落語っ子について・・・「子供たちの姿はいつもほほえましくて、頼もしいですね」と書いてありました。
三三さんって、そういう共感力もある人なのです。

どうです？次回の「佐世保かっちぇて落語会」は、こういう両師匠が初めて、がっぷり四つに組んで、たっぷりと二席ずつ、じっくりと聴かせてくれるんですよ。こりゃ楽しみたいねぇ。
さらに、もうひとり、地元の広田小・花高小・早岐中・南高出身の若き噺家、三遊亭らっ好さんも来てくれます。

三遊亭らっ好：1991年生まれの31歳。佐世保出身で長崎大へ進学するも4年の時に見事に中退し、落語の世界へ。精進を重ねて、現在は二ツ目。さらに精進しながら長崎・佐世保初の真打を目指している期待の噺家である。

ああ、なんて待ち遠しい会なんでしょう！ああ、なんて予約したくなる会なんでしょう！笑う門には福来る、笑顔の人には幸来る。
次回も、会場でお会いいたしましょう！

（文責・海老原靖芳）

2023年４月８日（土）　開演午後４時
佐世保コミュニティーセンター5F

指定席　大人：2,500円・小中高生：1,000円

※ 次回も指定席のみの販売とさせていただきます。

※チケット販売･問合せ先
佐世保かっちぇて落語会･実行委員会 事務局
佐世保市干尽町2-5観光交流センター2F　Soup-Upさせぼ内
Tel:0956-32-0888／Fax:0956-59-8151
営業時間：月～金　９時～18時

第31回 佐世保かっちぇて落語会

瀧川鯉昇　柳家三三

三遊亭らっ好（二ツ目）

佐世保生まれで広田小・花高小・早岐中・南高卒。真打を目指して精進中の、若き噺家である。

前座・佐世保かっちぇて落語っ子

橘高杏奈（祇園小4年）・末吉真梨（九文小5年）
橘高里奈（祇園小6年）・古川万葉（広田中2年）
橘高佑弥（祇園中2年）・日下野仁（佐北中3年）

- ◆ 日時：2023年4月8日（土）
- ◆ 会場：佐世保コミュニティーセンター　5階
- ◆ 開場：午後3時30分　開演：午後4時
- ◆ 料　金：大人 指定席　2,500円・小中高生 指定席　1,000円

※ 未就学児童の入場はお断り致します

- ◆ チケット販売・問い合わせ先：TEL:0956-32-0888

佐世保かっちぇて落語会実行委員会事務局
佐世保市干尽町2ー5　観光交流センター2階　Soup-Up させぼ内

企画：海老原　靖芳　　後援：佐世保市教育委員会・長崎県立佐世保南高柏葉会